

2026年新発売

耐病性と耐暑性を改良した **CY-4** を 千葉県 と共同育成しました

(草種名：クリーピングベントグラス)



品種登録出願中（出願公開中）
海外持出禁止（農林水産大臣公示有）

CY-4 の育成の背景

2007年より販売している国産第1号の種子系ベントグラスであるCY-2育成時と比較して、温暖化の進行で夏の暑さが厳しくなっていることや、低農薬・低肥料など環境に配慮した管理の実現のため、CY-2からさらに改良を進め、CY-4を育成しました。

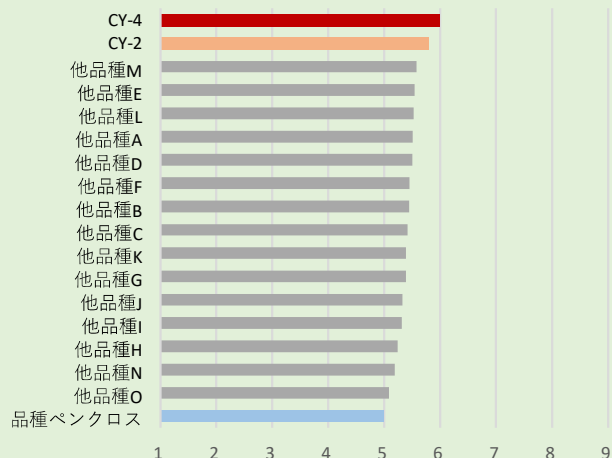
CY-4 の主な改良点

- ・耐暑性：夏季のターフクオリティと密度に優れる
- ・耐病性：高温多湿な日本で、1年を通して病害罹病程度が小さい
- ・冬季緑度：秋冬の緑度が維持され、アントシアンの発生が少ない
- ・葉色：CY-2へのインターシードに適した明るい葉色である

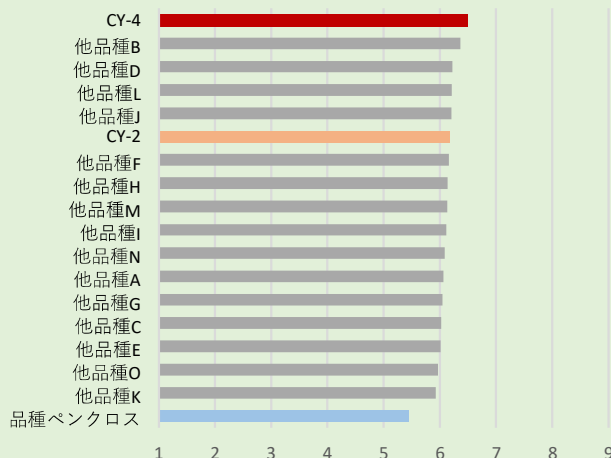
👉 1年間の平均ターフクオリティと平均密度が非常に良好

弊社千葉研究農場（千葉県千葉市） ベントグラス試験圃場（サンドベース） 国内流通18品種供試

年平均 ターフクオリティ（1-9良好）

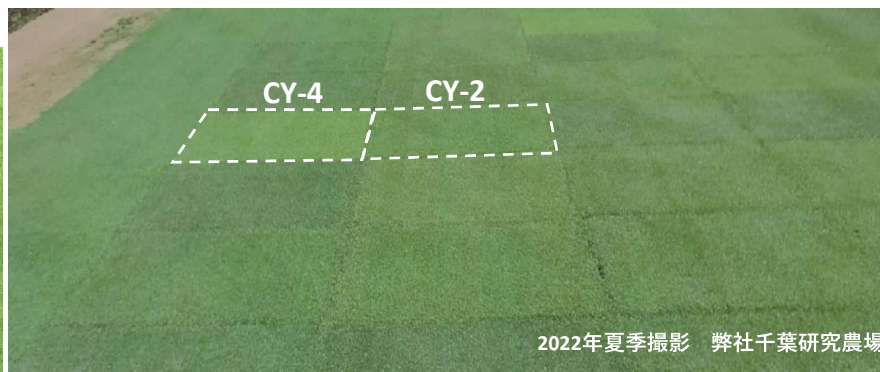


年平均 密度（1-9高）



👉 葉色が明るく、CY-2や品種ペンクロスへのインターシードに適する

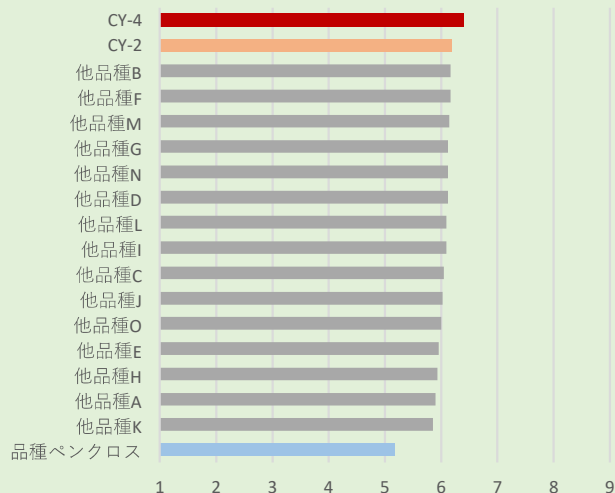
CY-4 2022年6月撮影



2022年夏季撮影 弊社千葉研究農場

☞ 夏季の密度が高く、耐暑性に優れる

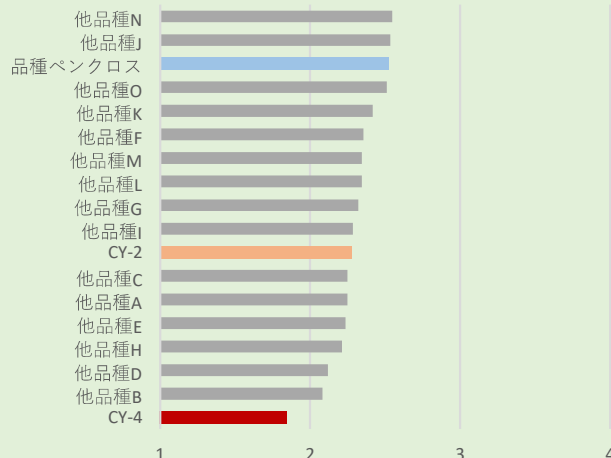
7月-10月の月平均密度（1-9高）



☞ ピシウム性病害および

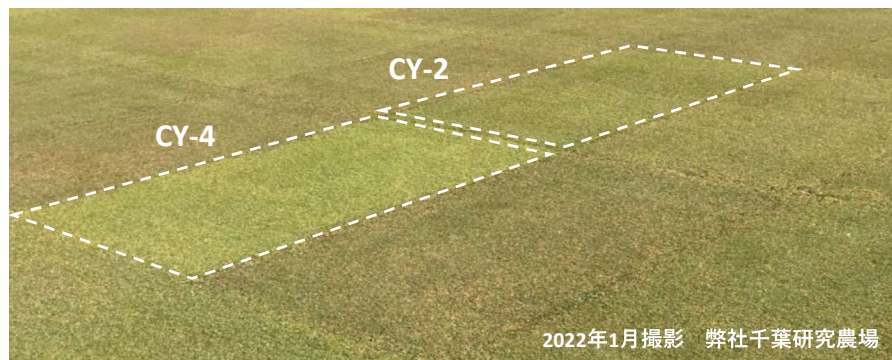
パッチ状病斑の発生が少ない

病害発生程度（1-9甚）



弊社千葉研究農場（千葉県千葉市） ベントグラス試験圃場（サンドベース） 国内流通18品種供試

☞ 冬季の緑度は良く維持され、アントシアンの発生程度も少ない



☞ 播種量

通常時：生種子10-15g/m²、コート種子12-20g/m²

追播時：生種子6-15g/m²、コート種子8-20g/m²

☞ 管理のポイント

▷ 年間を通した施肥管理の重要性

春先に施肥をすることで、萌芽を促進します。また耐暑性に優れるCY-4も酷暑によるダメージを受けるため、晩夏から秋にかけて施肥をすることで回復させます。CY-4は施肥直後に葉が伸長しやすい特性があるため、1回あたりの施肥量は少ないほうが適します。

▷ エアレーション作業

CY-4は密度が高いため、サッチがたまりやすく、ルートマットが形成されやすいです。そのため、適した時期にエアレーション作業をして、通気性を改善することで、マット化の防止だけでなく、新芽が増加し、高密度のターフに仕上げることができます。